

多職種連携を支援する「思考スキーム式」ツールがリニューアル

医療・介護の現場で協働する際の情報・知識共有を手軽に、より深く実現

2015（平成27）年11月10日

一般社団法人知識環境研究会

一般社団法人知識環境研究会（所在地：東京都千代田区、代表理事：神山資将）は、2015年11月10日より、医療・介護現場の多職種連携を促すための「思考スキーム式」（Thinking Scheme Method）ツールを刷新し、ツールのみの販売も開始しました。のべ数千人の医療職・介護職の協力を得て、より使いやすく、便利にバージョンアップしました。詳細は <http://www.ackk.org/kiken-yochi/> をご覧ください。

■ 思考スキーム式（Thinking Scheme Method）ツールとは

地域でのケアが重要になっている今日、医療や介護をはじめとした数多くの職種が互いの専門性を尊重しながら、よりよい協働を実現するため、認知科学や知識科学の研究成果を応用して開発されたのが思考スキーム式（Thinking Scheme Method）の知識共有手法です。思考スキーム式ツールにより、(1)自己の思考スキームの意図的な把握と表出、(2)互いの専門職の思考スキームの比較対照と理解、(3)自他の思考スキームの違いの理解・分析、(4)思考スキームの違いを踏まえた改善活動の動機づけ、の4点を促すことができます。

【ツールの構成】

思考スキーム付箋

思考スキームに基づいて、思考の表出と整理を促す付箋

プロットマップ

チームのメンバーが持っている思考を一堂に集約し、チームの思考傾向分析ツール

まとめ表

プロットマップから、チームの改善活動をデザインするツール

■ リニューアルのポイント

2010年からの研究成果と、多職種連携の現場で実務に携わるのべ数千人の医療・介護職の協力を得てツールを大幅改善しました。より簡単に、より使いやすく、思考スキーム式ツールの効果が向上しました。

- チームメンバーでの知識共有作業を簡易化
- プロットマップのカラー化と見える化の向上
- 改善活動の立案しやすさ向上

■ 利用場面

思考スキーム式ツールは、「多職種連携のための研修会」「現場の多職種連携場面」「多職種連携の危険予知活動」など、多職種連携の様々な場面で活用できます。

■ 導入したい方・体験したい方へ

医療・介護施設での導入や、ツールのみの購入をご検討の方は、info@ackk.or.jp までお問合せください。出張研修も承ります。

実際に思考スキーム式多職種連携法を体験し、その指導法を学びたい方は、個人でも参加できる1日完結の研修会「思考スキームに基づいた多職種連携の危険予知研修」を定期的に開催しています。次回は2016年2月13日（土）に、東京駅前会場にて開催予定です。詳細は公式サイト

（<http://www.ackk.org/kiken-yochi/>）をご覧ください。

